



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

障がい者の就労支援・就労の場づくり！

澤島 光弘 (さわはた みつひろ)

(株)榊澤電機製作所 代表取締役社長

○ 登録者情報

所在地

横浜市神奈川区

略歴

1947年神奈川県横浜市生まれ。パン窯の製造・販売、パン屋さん開業のためのノウハウの提供などを業務とする(株)榊澤電機製作所 代表取締役社長。この本業を中心に置き、ここからつながる様々な人や物事を大事にして社会と向き合い活動。カンボジアでパンの製造技術を身につける職業訓練学校設立支援、障がいのある人たちと支援する人たちのためのパン・菓子づくりコンテスト「パン・菓子甲子園『ユニバーサルベーキングカップ』」の事務局、障がい者の就労支援・就労の場作りとして小麦づくりを福祉施設と連携し運営。2008年には、特定非営利活動法人NGBC(ニュージェネレーションベーカリークラブ=ベーカリー関係者や福祉関係者が中心メンバー)を設立。2010年4月から、神奈川県総合計画審議会特別委員。

著書・論文等

『焼き立てパン屋さん本日開店！！』(とりい書房1999年5月)

『次の焼きあがりは2時45分になります！』(とりい書房)

○ 障がい者の就労支援・就労の場づくり！

取組の内容

①2003年から隔年で開催されている「パン・菓子甲子園」『ユニバーサルベーキングカップ』（障がいのある人々と支援する人たちのためのパン・菓子づくりパンコンテスト）の、事務局を務めています。決勝大会（全国大会）は、横浜にある国際フード製菓専門学校の協力を得て実技競技を行い、厳選な審査が行われています。2009年11月に第4回を成功させ、さらなる発展を目指し、2011年11月に開催予定の第5回に向けて活動をスタートしています。

②東京都千代田区が障がい者の就労支援を目的としてつくった実店舗「さくらベーカリー」の経営サポートにも携わり、障がいのある人たちの就労機会の拡大に尽力しています。

③神奈川県秦野市では福祉施設と連携して小麦の育成から製粉までを行っています。この活動を通じて障がい者の『農』での就労や、顔の見える作物の生産・製造・販売という動きにも携わっています。



「パン・菓子甲子園『ユニバーサルベーキングカップ』」

実績

①「パン・菓子甲子園『ユニバーサルベーキングカップ』」は、参加チーム：全国21都道府県から58チームが申し込み。横浜で開催された決勝戦には、パン部門8チーム、菓子部門6チームが挑戦。

②「さくらベーカリー」の月間売上 600万～700万円以上、障がい者常用雇用3名、パート8名

③神奈川県秦野市の小麦づくりは、福祉施設+協力生産農家で年間4トン～5トンの小麦を生産、福祉施設で製粉してパン屋さんに販売しています。

工夫した点や苦労した点

良き仲間を、いかに集め運営するか。



カンボジアでパンの製造技術を身につける職業訓練学校設立支援

ひとことPR

発言の1%しか実現できないなら、できるだけ風呂敷は大きく広げて、たくさん発言する。「何事も明るく、楽しく」が、モットーです。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(NPO支援)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

パン屋さんよろず相談室	www.kusizawa.com
-------------	--

連絡先

メールアドレス	kusizawa[アットマーク]kusizawa.com	その他	
---------	------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る